

2000 年「女性国際戦犯法廷」にむけて '99 国際シンポジウム

戦時・性暴力 過去—現在 に どう立ち向かうか

南京・マパニケ村（フィリピン）からインドネシア・ユーゴ・アルジェリアまで

12 月 12 日（日） 午前 10 時～午後 4 時 30 分

早稲田大学国際会議場

（JR 高田馬場駅下車→早大正門前行きバス・西早稲田下車
東西線早稲田駅下車徒歩 3 分）

参加費

一般 1500 円

会員 1000 円

映像と証言



ビデオ上映

「コーリング・ザ・ゴースト
～沈黙を破ったボスニア女性たち」など

現場からの報告・過去から現在まで

- 南京の集団強かん
蘇智良（上海「慰安婦」研究所）
- マパニケ村（フィリピン）の集団強かん
インダイ・サホール（女性の人権アジアセンター）
- インドネシアと東ティモールでの性暴力
イタ・ナディア（カラナヤラナミトラ）
- 旧ユーゴ紛争・コンボにおけるレイプ
ラダ・ポリッチ
（クロアチア・戦争被害女性救援センター）
- アルジェリアなどのイスラム原理派による性暴力
マリメ・エリー・ルカス
（「イスラム法下の女性」ネットワーク）

パネルディスカッション

2000 年「女性国際戦犯法廷」にむけて

1999 年も世界各地の紛争下でおびただしい数の女性への性暴力が繰り返されました。コンボ、東ティモール、アルジェリアなどのイスラム圏で。。。半世紀以上前のアジア太平洋戦争中の日本軍による性奴隷制（「慰安婦」制度）だけではなく南京やマパニケ村（フィリピン）での集団強かんの事実が改めて注目されています。過去から現在にいたる戦時・紛争下の女性に対する暴力について支援者を招いて実情を報告していただきます。こうした暴力をなくすために私たちは何ができるのかを考え、ちょうど 1 年後の 2000 年 12 月の日本軍性奴隷制を裁く「女性国際戦犯法廷」にいかしたいと思います。



VAWW-NET Japan

江東区潮見 2-10-10

Fax: 03-5337-4088

E-mail: vaww-net-japan@jca.apc.org

主催◎「戦争と女性への暴力」日本ネットワーク

☆12.12. シンポ賛同人・賛同団体募集中！（詳しくは裏面を参照してください）

「2000 年 12 月東京で「女性国際戦犯法廷」を開きます！」

日本政府に「慰安婦」問題で法的責任をとらせるために、国家による女性への戦争犯罪であった真相を明らかにし、だれが責任者であるのか、どう処罰するべきであるかを示し、法廷の全記録を歴史に残すことを目的としています。加害国、被害国、国際諮問委員で構成する国際実行委員会が「女性国際戦犯法廷憲章」をつくり、「裁判官、検事、鑑定人」などを選びます。真相調査活動にもとづく証拠、証言をもとに法廷を開き、審理を経て判決を下します。なお、現代の武力紛争下の女性に対する暴力の国際公聴会を「女性国際戦犯法廷」に引き続き開きます。

「VAWW-NET Japan (バウネット・ジャパン) とは？」

正式には「戦争と女性への暴力」国際ネットワーク (Violence Against Women in War -Network Japan、略称 VAWW-NET Japan) といいます。1997 年秋に世界 20 ヶ国 40 人の海外参加者を招いて、「戦争と女性への暴力」東京で開催されました。この会議直後に国際的な VAWW-NET が生まれ、国境を越えた連帯活動が始まりました。VAWW-NET Japan は、この国際会議の実行委員有志を中心に、会議で採択された「戦時・武力紛争下の女性への暴力をなくすために、『女性の人権』の視点に立って、平和を創る役割を担い、世界の非軍事化をめざす」(東京宣言) ことを目的に集まり、98 年 6 月に正式に発足しました。

「お願い 賛同人・賛同団体になってください」

2000 年 12 月の「女性国際戦犯法廷」開催 1 年前となる今年 12.12 のシンポジウムは、海外ゲストの渡航費・滞在費、通訳・翻訳、通信費を含め多大な費用が想定されます。ぜひ、趣旨をご理解の上、賛同金へのご協力と当日のご参加をお願いします。また、翻訳・通訳や準備にご協力いただける方はご連絡ください。

◎賛同金：一口個人 1000 円、団体 3000 円 *何口でも結構です。団体は 2 口以上お願いします。

◎振込先：郵便振替口座：00120-3-31955 (加入者名) VAWW-NET Japan

※通信欄に必ず「12.12 シンポ賛同金」とご記入ください。下記を切り取り、郵送か FAX で送付してください。

12.12 シンポジウムに賛同します

個人 ☐ / 団体 ☐ = _____ 円

お名前・団体名：_____

公表： 可 ・ 不可

御住所：〒 _____

Tel.: _____ Fax: _____ E-mail: _____

◆チラシを配ってくださる方・ニュースなどに同封してくださる方 (_____ 枚) 希望

◆ご意見・提案、または協力していただける分野があればお書きください。

